

2016年6月7日  
東日本旅客鉄道株式会社

## 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のオフィシャルパートナーに決定 ～「旅客鉄道輸送サービスパートナー」として東京2020大会の成功に貢献します～

東日本旅客鉄道株式会社(代表取締役社長:富田哲郎、本社:東京都渋谷区、以下「JR東日本」)は、本日、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と「東京2020スポンサーシッププログラム」における「東京2020オフィシャルパートナー(旅客鉄道輸送サービス)」契約を締結しました。

1987年の国鉄改革・会社発足から来年で30周年を迎えるJR東日本は、グループのコンセプトワード「地域に生きる、世界に伸びる」のもと、約1,660の駅と7,400 kmを超える鉄道ネットワークを中心として、お客さまと地域の皆さまのために、良質で時代の先端を行くサービスを提供することにより、東日本エリアの発展をめざしています。

これまでJR東日本は、安全・安心で快適・スムーズにご利用いただける輸送サービスを提供するとともに、バリアフリーに配慮した鉄道インフラ整備を着実に進めてきました。また、東京圏の魅力あるまちづくりや東北地方を始めとする東日本エリアにおける観光振興など、地域の活性化にも取り組んでまいりました。

あわせて、野球・女子柔道・陸上競技等の企業内チームや、プロサッカーチームである「ジェフユナイテッド市原・千葉」の活動を通じ、地域のスポーツ振興に貢献しており、2015年からは公益財団法人日本障がい者スポーツ協会のオフィシャルパートナーとして、アスリート支援にも取り組んでいます。

JR東日本は今後、東京2020オフィシャルパートナーとして、また東日本地域を事業エリアとする企業として、円滑な東京2020大会の運営を支え、大会開催に向けた気運を高める様々な取組みをより一層加速させます。そして、この取組みが2020年以降も地域社会に持続的な効果をもたらす「レガシー」となるよう努めてまいります。



東京2020オフィシャルパートナー(旅客鉄道輸送サービス)

[契約概要]

契約プログラム	東京 2020 スポンサーシッププログラム
契約内容	オフィシャルパートナー (旅客鉄道輸送サービス) 呼称やマークなどを使用し、オリンピック・パラリンピックムーブメントの盛り上げや、日本代表選手の支援、東京 2020 大会の成功に貢献します。
契約期間	2016 年 6 月 7 日～2020 年 12 月 31 日
対象	<大会> ・第 32 回オリンピック競技大会(2020/東京) ・東京 2020 パラリンピック競技大会 <日本代表選手団> ・第 31 回オリンピック競技大会(2016/リオデジャネイロ) ・リオデジャネイロ 2016 パラリンピック競技大会 ・第 23 回オリンピック冬季競技大会(2018/平昌) ・平昌 2018 パラリンピック冬季競技大会 ・第 3 回ユースオリンピック競技大会(2018/ブエノスアイレス) ・第 3 回ユースオリンピック冬季競技大会(2020/ローザンヌ) ・第 32 回オリンピック競技大会(2020/東京) ・東京 2020 パラリンピック競技大会
領域	日本国内